

岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

平成 30年 月 日

岡山市長 大森 雅夫 様

ソウメイガックレンゴウジシュボウサイカイ
フリガナ
団体名 操明学区連合自主防災会
所在地
連絡先
代表者役職・フリガナ氏名

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名	操明学区防災フロント（最前線）事業
事業実施区域 (小学校区)	岡山市中区 操明小学校区
① 事業実施内容	1) 単位防災会新役員の方と持続可能な協働組織作りの為研修会、訓練を行う。 2) 単位防災会ごとの要配慮者避難確立の為個別避難場所の設定協定締結。 3) 非常時連絡網の確立の為マニュアル作成、それに基づいて訓練を行なう。 4) 企業提携ルール・連絡網の確立と避難場所責任者と協助員の決定周知。 5) 上記活動により、単位自主防災会の充実と新役員の意識醸成を推進。 ※事業実績を示す写真(事業内容ごとに2枚程度)、作成した報告書やチラシ等を添付してください。 アンケート等を行った場合は、集計結果を添付してください。また、新聞等で取り上げられた場合は、その写しを添付してください。
② 解決を目指した課題	1) 避難場所受け入れ人数と、場所別責任者と地域協助員の決定。 2) 要配慮者支援個別計画の作成 3) 防災役員の操明学区地域に於ける統一マニュアルの作成

③ 目的・目標の達成状況

1) 持続可能な最前線防災組織づくり

連合役員総会の承認を受けほぼ完成。今年度は区づくり事業を始めて2回目の大きな役員改選です。大きな山場で今後スムーズに進めば完成。

2) 要配慮者支援個別計画

市危機管理室よりの名簿と、学区で承握した人達の個別計画表の書換え確認
救出救護班員、受入避難場所の決定周知もほぼ完成。

3) 最前線の人材育成

地域マニュアルの完成で統一された防災役員研修会、訓練が出来る様になった。

4) 緊急時連絡網の構築

緊急時連絡のシステムが完成。本年初めて緊急時5分以内の連絡網として訓練した。
携帯と無線での結果は良かったが。本災害の時の行政等との連絡網が課題か？

5) 各種団体・企業及び学区外との協働

山陽短大との協働で操山より南部の学区との協働が進むが新しい課題も出て来た。
下関市まちづくりとの懇談研修会、要配慮者支援で学区外団体との避難所として
避難協定が締結された。

6) 操明地域防災役員の統一マニュアルの作成

防災会長、副会長の仕事。避難誘導班の仕事。救出救護班の仕事。消火班の仕事。
情報班の仕事。給水給食班の仕事等役員の役割が明確になった。

情報公開

- 1) 操明ホームページで訓練・研修会等を紹介している。
- 2) 操明ネットワーク新聞に掲載、年四回全戸配布している。
- 3) 連合町内会役員総会で、年二回報告をしている。
- 4) 紹介に対応して情報公開を行う。
- 5) DVDにして訓練模様を全年度残している。

企画等

- 1) 操明地域マニュアル(案)で新役員研修会から避難訓練まで連動して行う。
- 2) 出来る単位自主防災会から独自の企画を生かして訓練を行なう。
地域最前線課題の防災協議会の充実
例、一人一人違う要配慮者支援のあり方
- 3) 学校・地域の団体・企業と緊急時連絡網(5分以内)確認訓練。
- 4) 山陽学園短大と操山より南部の防災を考えるマップ作成協働する。
30年度より、山陽短大に地域マネジメント学部創設協働予定

※実施にあたって工夫したこと、また住民への活動の周知広報の取組とその評価を記載してください。

⑤ 次年度計画	※次年度に引き継ぐ課題、今年度の実績を踏まえた次年度計画の概要をご記入ください。また次年度に引き継がず活動を完結する場合はその理由（課題が解決したからなど）をご記入ください。 1) 新役員の方と持続可能な協働組織作り。 2) 要配慮者避難訓練、見守り体制。 3) 町内会以外の受入体制と非常時連絡網の確立。 4) 2企業との提携・連絡網の作成・周知。 5) 単位自主防災会の新役員研修会開催。 6) 連合防災士3人の操明防災研修会の講師陣の充実。
⑥ 事業実施者の評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善	※事業を実施することを通じて持続可能な地域づくりを進めることができたか、持続可能な地域づくりを担う人づくりにつながったか、地域の課題解決力は高まっているか等、本事業についての自己評価をご記入ください。 1) 区づくり事業のおかげでほぼ出来上がってきたと思います。 ・今年が2回目の大きな役員改選です。今までの成果を踏まえ、本年、再来年度でどのように進むか実践してみたいと思います。 ・研修会・訓練の講師陣・会場の問題も頭が痛いです。 2) 学区外交流を進めることで、新たな課題も出てきました。 ・操山より南部の膨大な人数の、高台避難場所、施設への経路、それぞれの場所での責任者、連絡網手段、確認等課題が山積です。 3) 無線機の扱いについて ・リース期間が終わり、十分使用できますので緊急時連絡機器とし、中古品として買い取りたいと役員会で決まりました。ご無理をお願いする事になるかも知れません。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容 1) 現代の防災事業に対する運営は、マニュアル ルール等可視化された物が必要であり、的確に、 作成して下さい。 ・アンケート調査を基に地域で防災、減災活動に必 要な統一マニュアルを作成致しました。 2) アンケート調査とその分析を密にして、事業の企 画内容に反映させてください。 ・29年度からは、新一年生の父兄さんからのアンケ ート調査のみです。ほぼ同じ%で問題点が上がっ て来ます。近年は用水路の保護策が一番多いよう です。 ・新役員研修会、防災訓練にそれぞれマニュアルに 生かしています。 ・29年度からは、新一年生の父兄さんからのアンケ ート調査のみです。ほぼ同じ%で問題点が上がっ て来ます。近年は用水路の保護策が一番多いよう です。 3) 無関心な人々の心を動かす活動も必要におもい ます。 4) 災害対策としては、訓練を・教育意識づけが大切 です。 ・連合町内会と協働して、年毎又は二年ごとに 交代する、各町内会より推薦された防災新役員 研修会、訓練を毎年行っている。 これを繰り返すことでほぼ10年で、町内会の 最前線組織、班の50%以上の家族で防災研修 会・訓練を受けることになります。 ・地域の問題を主とした統一マニュアルに基づい て、来年度より本格的に教育・訓練・意識付け ができる体制が出来ました。30年度の結果が楽 しみです。 右記のⅠ～Ⅴの該当部分に○を付けてください。なお、 Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記（ ）内へ記入 して下さい。 (理由：)	助言等の内容について、改善がで きましたか。 Ⅰ できた Ⅱ ☒ おおむねできた Ⅲ 一部できなかった Ⅳ まったくできなかった Ⅴ 改善意見がなかった
--	---

⑧ 平成29年度事業経過報告

年 月 日	内 容
H29年4月2日	操明学区・桜祭り ふれあいセンター広場
22日	たこ焼き・小学校太鼓クラブ 操明学区連合町内会・総会 28年防災事業報告、29年活動方針審議 操明小ランチルーム
23日	操明学区連合自主防災会・総会 28年防災事業報告、29年活動方針審議 ふれあいセンター研修室
5月21日	地域福祉計画推進委員会議 区づくり事業29年活動方針了承
28日	操明学区連合自主防災会・三役会 29年活動計画推進会議 四番川倉庫
6月 4日	操明小学校運動会 会場設営、片付け 操明小グランド
10日	操明学区連合自主防災会・役員会 29年活動計画運営会議 ふれあいセンター研修室
17日	操明学区連合自主防災会・研修資料会議 新役員研修会資料の勉強会 四番川倉庫
24日	操明小学校・避難訓練 授業参観・避難・お迎え訓練 操明小
7月 2日	操明学区連合自主防災会・研修資料会議 新役員研修会資料の勉強会 四番川倉庫
15日	操明学区連合自主防災会・三役会 研修会最終打合せ、準備 四番川倉庫
16日	11号台風警戒 16日室戸に上陸、17日倉敷付近に再上陸
22日	操明学区連合自主防災会・新役員研修会 活動班別、新役員研修会 ふれあいセンター研修室
23日	操明学区連合自主防災会・三役会 研修会見返り会 四番川倉庫
8月 4日	四番川水門見学研修会 国交省四番川出張所
19日	操明学区連合役員総会 区づくり事業経過報告 操明小ランチルーム
25日	15号台風警戒 町内巡回、雨台風
26日	操明学区連合自主防災会・三役会 四番川倉庫
30日	下関市役所まちづくり協議会との交流会 ふれあいセンター研修室
9月 2日	操明学区連合自主防災会・役員会 防災訓練に向けて ふれあいセンター研修室
3日	操明学区連合自主防災会・三役会 防災訓練に向けて 四番川倉庫

9日	18号台風警戒 町内巡回・藤崎ハイツ浸水、二番用道路水冠水	
16日	操明学区連合自主防災会・三役会	四番川倉庫
24日	操明学区連合町内会体育祭 会場の見回り	操明小グランド
10月13日	操明学区連合町内会敬老会 操明小学校太鼓クラブ	ふれあいセンター
18日	フォーラム イオンモール区づくり報告	イオンモールホール
22日	操明学区連合自主防災会・三役会 21号台風警戒 学区町内・用水巡回	四番川倉庫
29日	四番川倉庫 11/3訓練準備、資材備品貸出	四番川倉庫
11月3日	学区防災訓練 ふれあいセンター・さくら祭典江並・消防教育訓練センター	
14日	山陽学園大学 操山より南部防災マップ作成打合せ	
24日	岡山市自主防災会交流会	ふれあいセンター
26日	見返り会 29年防災事業活動反省会、30年度方針案提出	三幡公会堂
12月3日	クリーン作戦	
H30年1月13日	新年互礼会	
28日	三役会	四番川倉庫
2月15日	棚卸	
24日	操明学区連合自主防災会・役員会	ふれあいセンター研修室
その他	年4回の操明ネットワーク新聞の編集あり	

⑩ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	122,000	122,000	
負担金	123,000	131,702	
参加費			
寄付、他収入			
計	245,000	253,702	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	10,000	27,379	ユニフォーム、ホッチキス針など
②食糧費	20,000	28,259	会議時等のお茶代
③会場費	15,000	8,500	会場・会議室
④印刷製本費	50,000	40,650	資料コピーなど
⑤手数料(リース料)	142,000	141,264	トランシーバーリース料
⑥通信運搬費	8,000	6,750	電波使用料
⑦使用料・賃借料	0	900	駐車場代
計	245,000	253,702	